



第50年度 7月ディスカッション例会（担当：長期計画委員会）

「研修団体としての未来を創造する」

第50年度と50年の歴史を振り返る

とき 平成28年 7月9日(土) ところ 大垣フォーラムホテル 出席者 正会員 48名



講評をする
大橋誠治副会長



司会進行をする
中島長期計画副委員長



趣旨説明をする
奥田長期計画委員長



始まりの挨拶をする
北野英樹会長

「OJB」の「これから」を考える

OJB
ひるば

一般社団法人
大垣青年重役会



第50年度 第12号 平成28年 7月25日発行
URL ▶ <http://www.ojb.jp>

第50年度スローガン

伝統を創造しよう



「OJBを考える」

川瀬 知哉



7月例会は各委員会グループに分かれてのディスカッションでしたが、大変活発な意見交換ができ、会員それぞれの考えや思いを知る大変良い機会であったと思います。

私は研修委員会のグループに入っており、今年度1年間を振り返って印象に残る活動や気付いたことなどの意見交換から始まりました。改めて1年を振り返り、その意見交換をしてみると会員それぞれ印象に残っていることが違い、様々な感じ方や考え方もあるのかと違った角度で活動を思い出し、またその活動の印象が強くなりました。

その様に考えると、様々な研修活動を行っていくことも大切ですが、活動を終えた後に参加者で振り返ることを行えたらもっと良い研修活動になるのではないかと思います。よくPDCAサイクルを回すことが大事であると言われておりますが、研修も一つのサイクルと捉えて行えることより良い研修になるのではないかと考えます。OJBという研修の会で、会員同士で研修のサイクルを活発に行えたらもっと魅力ある研修活動になるのではとディスカッションしながら感じました。

グループ報告を伺っていると、会員皆様のOJB に対しての想いが相当に熱いと感じることが出来る例会であったと思いますし、このような機会がまたあればと思いました。ありがとうございました。

「7月例会に参加して」

西川 可



英国で行われた国民投票においてEU離脱派がわずかながら多数を占めたことから、英国、EUという組織のみならず全世界に衝撃が広がりました。また、日本国内でも戦後初めて与党議員が衆参両院で3分の2を占めるという歴史的な動きが今起きています。

OJBでは、今後進むべくOJBの方向性を考える機会として、研修団体としての未来を創造する「第50年度と50年の歴史を振り返る」と題したディスカッション形式の例会が開催され、私の所属する会員委員会では、特に新入会員の獲得について過去に会員委員長を経験された会員からの意見、OJBの魅力についての再確認など議論が多く交わされました。

今後は、OJBに入会する動機、入会の方法が以前とは大きく変わってきたことを踏まえて、いかにOJBが他団体との違いと他団体にはない魅力を発信していくのか、という課題を解決することがOJBの発展につながるでしょう。

最後に、自分自身の行動を振り返る機会を与えていただきありがとうございます。今後には活かしていきます。自身の企業の発展がOJBの発展には必要不可欠なのだから！

NEWS LINE

第50年度 7月例会

1

7月例会レポート

7月特別総会

第2回飲んで語る会

2

第50年度 研修旅行 感想文

岐阜経済大学との懇親会&二次会

3

7

ドネーション・お知らせ

8

7月例会レポート

ディスカッションした内容の一部「今後のOJB活動に期待すること、具体的な活動等」を要約させていただきました。

■研修委員会

- ・会社経営に直結する研修の場
- ・会員にメリットある場の提供
- ・目的のある事業を行っていく。
- ・同業などの部会制度の復活。
- ・今話し合った内容など
- ・今年度引き継ぎ「良い」と言われた事業は続けていける流れを作る。



■会員委員会

- ・FBにリンクしたHPを新しくすることで、よりOJBに興味をもってもらえるようにする。
- ・新入会員獲得に関して、特別会員からの情報をいただけるよう特別会員との公式な交流の場をつくる。



■広報委員会

- ・ひろばは誰でも作れる仕組み作り(挑戦することが出来る団体)
- ・研修団体なので内向きになりがちだが外へのアピールがあれば良い。
- ・OJBの魅力を数値化することができれば外へのアピールとして発信できるのではないかと。



■親睦委員会

- ・講師を呼ばない月にスーツなし等での例会後、軽く体を動かせるような活動があると良い。
- ・新入会員の趣味などに合わせた活動
- ・OJBの研修とは自身の勉強の面が強いですが、仲間作りという側面もある。



■長期計画委員会

- ・法人化の可能性をもっと追及してほしい。
- ・企業行つて例会。
- ・志願して入会していただける会。
- ・法人化5か年計画
- ・部会制↓委員会との両立。



第50年度7月特別総会

第一号議案
第五十一年度
役員承認の件
総会出席者76名のうち、
出席者50名、
委任状出席者1名、
書面表決出席者11名、
過半数を満たしており、
会則25条により
総会が成立しました。



議長 長屋是通歴代会長



第51年度 大橋誠治新会長の挨拶



- | | |
|---------|-------|
| 会長 | 大橋誠治 |
| 直前会長 | 北野英樹 |
| 副会長 | 加納浩二 |
| 監査役 | 鳥居清 |
| 幹事長 | 山口猛 |
| 例会幹事 | 足立貴保 |
| 広報幹事 | 永田康仁 |
| 会計 | 久世研二 |
| 相談役 | 平野宏司 |
| 実践研修委員会 | |
| 委員長 | 田中真奈美 |
| 副委員長 | 高木一也 |
| 会員委員会 | |
| 委員長 | 松下元嘉 |
| 副委員長 | 白井俊治 |
| 広報委員会 | |
| 委員長 | 大平晃嗣 |
| 副委員長 | 奥村浩年 |
| 親睦委員会 | |
| 委員長 | 川合敏博 |
| 副委員長 | 井納宏自 |
| 長期計画委員会 | |
| 委員長 | 野原実 |
| 副委員長 | 江森正 |
| 委員長 | 林尚路 |

第2回飲んで語る会

とき 平成28年7月9日(土)
ところ ラウンジ 紫苑
出席者 39人

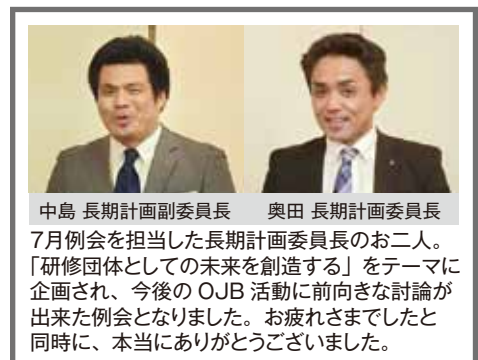
平野歴代より次年度の役員へ期待を込めた乾杯の「発声」を頂戴し、松本歴代から今年度・次年度の役員が重なる活気ある時期です。OJBは研修の会として盛り上げていきたいと思います。



平野宏司歴代会長 乾杯の挨拶



松本正平歴代会長 締めの挨拶



第50年度「研修旅行」を振り返って、ご感想をいただきました。

「伝統と創造とおもてなしの旅」 北野英樹

第50年度は私のわがままで2回も研修旅行に行かせていただきました。イタリアに続き、国内版は私の第2の故郷ともいえる金沢に。北陸新幹線開通が引き金となり、特にここ10年大きく変化してきました。日本三元気がある地方都市と言っても過言でない金沢。伝統の文化が継承され、大切に守られながらも、日々変化し、進化していったその軌跡は、まさに「伝統を創造しよう」というテーマを学ぶにピッタリの場所でした。

玄関に大きく「創造と挑戦」と掲げた株式会社芝寿し様。その言葉通り、3世代かけて創造し、挑戦し続け成長してきた過程をお聞かせいただきました。挑戦の代償である失敗も隠すことなくお話された梶谷社長は我々と同世代を受け入れることでもあって、会員は共感できる部分も多く、また大いに刺激を受けたのではないのでしょうか。そして宿泊は、私が行ってみたい日本を代表する旅館の加賀屋様でした。ご縁があつて小田相談役様にご講演もいただきましたが、本物のおもてなしとは何か、サービスの本質とは何かということこそ、一人者のお言葉と共に、実際に身を以て体験させていただくことで、より深く学ばせていただきました。

この有意義な旅を大勢の仲間と共に行けたことを本当に幸せに思います。幹事長を始めとした役員の皆様、そして参加していただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

「研修旅行を終えて」

羽田義慎人

「10日ほど前にしか日程がつかなかった今期の研修旅行、どうしても行きたかったのです。何故って？もう卒業なんです。現役では最後の旅行となつてしまふ寂しい気持ちです。今まで北海道から沖縄まで沢山の企業様を訪問させていただきました。それぞれの研修先を振り返ると楽しかった事はばかりを思い出します。今回も予想通りの楽しい旅行でした。金沢は2回目ですが新鮮さはありませんでした。念願の和倉温泉加賀屋に宿泊する事が出来ました。これもどうしても行きたかった理由のひとつです。私だけではないと思いますよ。

さて、加賀屋様に着きました。お出迎えの噂は聞いていましたがどんなもんだらう？と思つていたらやっぱりすごい！あれだけ大勢のそとして美しい人から歓迎され笑顔で贈られるのもうたぬ。加賀屋ファンになるには3歩で十分でした。

すれ違うすべての従業員が笑顔と気遣いを持ち合わせており私たちが客を非日常空間でつんで和ませてくれました。また訪れる機会があればこちら側も日本二にふさわしい客に近づきたいものです。料金的には決してお値打ちとは言えませんが背伸びをしなければ分からないものが加賀屋様には沢山ありました。まだまだ書きたい事は沢山ありますが字数も限りがありますのでこの辺で。最後になりましたが会長はじめ役員の方皆さん、ありがとうございました。

「OJB 研修旅行を振り返って」

渡部弘幸

私は、OJBに入会して今年度で22年目を迎えます。今年度ももつて卒業となりますので、過去のOJB研修旅行を振り返つてみたいと思います。

29年度 入会
30年度 30周年記念旅行 中国上海 日比会員と同室

31年度 九州博多方面 大橋誠治会員と飲食を共に
32年度 高松・松山方面 坊ちゃんの湯に入湯

33年度 京都・大阪・神戸方面 舞子さんの舞いを初めて見た
35周年記念事業 空港で玩具で止められ焦つた
36年度 北海道 ロサンゼルス・ラスベガス 三輪会員とひたすら飲んだ
高橋克弥会員に
大変お世話なつた

38年度 関西方面 幹事長のため忙しかつた
41年度 岡山・松山方面 林原生物化学研究所が興味深かつた

42年度 長崎・佐世保方面 ジャパネットかたの 高田社長の講演を拝聴できた。料亭花月の龍馬伝刀傷が印象的

46年度 東京・埼玉方面 移動のバス中で、西野委員長、奥田副委員長が大変盛り上げてくれた

47年度 福岡・下関方面 ふくやの明太子がうまかつた
49年度 大阪方面 飲屋でS会員がチンピラに絡まれた

50年度 北陸・和倉温泉 わがまを言つて往復自転車にて参加、皆さんにご迷惑をお掛けしました

OJB 在籍22年間で13回研修旅行に連れて行つて戴きました。先輩や同期、後輩と楽しく過ごした時間が鮮明に記憶に残っています。本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

「欲張り研修旅行」

松本正平

1年に2回も研修旅行を行うと聞いた時には、北野会長はなんて欲張りなんだらうと感じたものだが、2回目の研修旅行は、その欲張りぶりを存分に発揮していただきました。だって、1日に2人の経営者に話を聞くことが出来たんですもの。それも全くタイプに違う2人の経営者の。

芝寿しの新進気鋭の3代目梶谷社長は、同世代で2世3世の我が々に気安さがあったのか、赤裸々に事業継承の悩みを話していただけた。ただ、昨年完成したばかりの新工場を十分に見学させていた。後ではありましたが、これから世界に向けて芝寿しを売っていく準備が整った自信と、先代に負けない気概で自身の事業のみに打ち込んでいく姿を見せてくれました。

翻つて、加賀屋の小田相談役。おもてなし世界一の加賀屋の経営者らしく、大垣との縁を話して我々を気持良くさせていた。後金沢やひいては日本の観光事業を牽引してきた自負と、経営者としての秘訣を話していただきました。講演後に全員と名刺交換するというサプライズを含めて、加賀屋の一端を実感させていただきました。贅沢な研修をありがとうございました。

「未来を創造する旅」

浅野信哉

西京は西京ではない、ゆえに西京は西京である。北京でも東京でもソウルでもないアジアのどこかの国「芸術を愛する人々が住む国」について物語るという設定。西京は、現実からかけ離れた創造上の出来事ということではなく、我々が生きる現代という時代を照射しているという。

金沢21世紀美術館を訪れて多くの作品にふれることができた。少し下調べをして挑んだ鑑賞でしたが、想像を超える作品に見とれるどころか完全に置き去りにさせられた気になりました。現実からでは創造できないもの、それは現実という観念がいかに限りのあるものなのかを作品を通して少し感じたような気がしました。

見たモノや起こった出来事にたいして、ついつい理由を当てつけたり正解を考えたり、まさに現実でしか想像していないから、作品を観て「何これ？」なんてつぶやいてしまふ。

現実という観念の外側の観念もこれからの重役会には必要になるかも知れない、そんなことを帰りのバスで考える良い研修旅行になりました。皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

「胡蝶の夢」

吉田大助

疲れきつていた私は、同室の皆様のご配慮もあり贅沢にも客室の控室を一人部屋として使わせてもらい（あの敷布団はエアウィーブ的なもの？）この上ない心地よさにスヤスヤと眠り。その日限りの食品を扱う年商三〇億の会社の跡継ぎとして生まれ、プレッシャーや葛藤の中、自身の夢を追いかけ別の会社に就職。挫折とご縁を経てマネジメントなど学び、祖父の「誰かのために生きた人間の死」を見た時に感じた思いを胸に会社を受け継いだ私。新工場を建設し、成功も失敗も責任も掛け負いながら、チャレンジを続けています。質問にもしつかり答える事が出来るし、とにかく自身の仕事がかつたということが分かってきます。おもてなしとは対価を求めず相手の喜びを自分の喜びとすること。サービスの本質は、タダやおマケではなく「正確性」と「相手の立場に立つて思いやる心」お客様第一主義のサービスで日本一の旅館業を維持し、世界と未来を見据えながら、地域活性と産業の役割を担っていきます。おや、右端でウトウトしてる失礼な奴がいるな。

「おはよう！」
極限に怒りを抑えた幹事長の声で目覚めた私は紛れもなく甘えた大人でした。素晴らしい研修旅行をありがとうございました。そして光利君、快適な旅をありがとうございました。

「充実研修に感謝!!」

大橋 誠治

この度、金沢・能登方面の研修旅行に参加させていただきました。最初に訪問した研修先の(株)芝寿し様においては梶谷社長より金沢文化と融合しながら、新しい金沢名物の企画・販売・製造をする中で、三方善しの経営理念や内容を拝聴いたしました。また、会社の生い立ちや、社長自身の経営者としての赤裸々な「苦勞話」も伺い、人間的な魅力もとても感じました。異業種であっても、考え方や具体的な戦略実施など学ぶところが沢山ございました。社員の皆様もとても明るく笑顔のご対応で、とても気持ちのいい時間を共有させていただきました。誠に有難うございました。

また、(株)加賀屋様の小田相談役様からは北陸・金沢・能登地域のインフラ環境の推移や今後の観光業の将来性・活用性等をお話いただきました。継続した社員の人材育成の実施、絶えずお客様から声やアンケートを実施しながら最上を提供するための情報収集を欠かさないことなど、36年間おもてなし日本一の真髓を拝見させていただきました。実際、手際のちよいといい仲居さん方のご対応・接客など、最上級のお心遣いを体験させていただきました。感無量でした。いかに相手の立場を考え、想像しているかを肌で感じました。これらの研修はとも日常では経験できることではなく、充実した研修内容で大変有難うございました。研修後は会員と格別な親睦が出来、今後の共通した話題の中で新たな親近感や絆につながればと思います。

会長・幹事長中心に企画され、大変お疲れ様でした。そして有難うございました。また、ご一緒いただいた会員の皆様、貴重な時大変有難うございました。次年度の研修旅行にも参考にしたいと思っております。

「重役会の研修旅行とは」

西野 英乙

今回研修旅行に参加させて頂き、誠にありがとうございました。初日の研修予定として2件の研修先でのお話をお伺いする行程を見たと、ちよとハードなスケジュールだなあと感じた事もありました。が、お伺いしてみれば芝寿しの梶谷社長からはお若い3代目社長と言う事も有り、強い勢いを持ったエネルギーを頂きました。

また、加賀屋での小田相談役からは日本一になる物事の考え方を教えて頂きました。お客様が宿泊してお帰りになれるという、そんな難しい行程の中に世の中がどのように変化していき、社内では人事や教育を考え、同業界の発展を先頭になって進めていく。そんな実践してみえる姿が、小田相談役のおもてなしという言葉の中からとても伝わってきました。今回加賀屋に宿泊するのは初めてで、一体何をもって日本なんだらうと考えるときは有りました。

そんな思いをもつて実際宿泊させて頂きましたが、結論から言うと正に日本のサービスだと実感致しました。仲居さんの一人一人の対応は今まで自分が経験してきた物とは全く違い、細部にわたる心遣いを堪能致しました。

ご一緒させて頂いた皆様方、色々とご迷惑もお掛けしましたが、とても楽しく研修させて頂きました。本当にありがとうございました。

「研修旅行」

松田 俊治

46年度ぶりに参加させていただきました。北陸新幹線開通に伴う金沢の活気あふれる姿を見学できて今まで交通の便が悪く日の目を浴びることが少ない北陸に力強い景気の波が来ているのがハッキリとわかりました。訪問させていただき、地元の名産の笹寿司を堪能された。「芝寿し」様、社長も37歳と若くこれから時代の仕切りを見据え、今まさに来ているビジネスチャンスをしつかりとつかみ取ろうとする姿勢を感じました。顧客から要望が強まるであろう衛生管理の強化や人口減少による雇用問題に対応するための機械化と人材確保、社長ご自身も失敗ばかりと笑っていましたが、どれも速く確実に取り組んでいる姿勢に強く感銘を受けました。

石川県で一番有名な旅館「加賀屋」様、3年前に慰安旅行で行きましたが、何度訪れても流石と思われまます。客室係ひとりひとりの心づかい、気遣いの深さに感動を覚えました。料理もどの一品を食べても必ずおいしいと思えるものです。どれをとっても何一つ不満がない。まさに至れり尽くせりの一夜でした。ご講演いただいた2社様どちらも時代の変化、また顧客ニーズの移行に対応し、まさに盤石と呼べる経営をされていきました。今年度のスローガンでもある「伝統を創造しよう」を体現する研修先であり、今年度の研修旅行に同行させていただけた事感謝いたします。

「感謝!!」

寸田 敬介

北野会長から多くの会員に参加してもらいたいね、研修をしつかりできるといいねと課題をいただき企画をスタートしました。紆余曲折を経て今回の金沢・和倉温泉の研修旅行となり、プレッシャーも多く、直前まで修正等でドキドキしていました。が、皆さんご協力のもと無事に終えることができました。今回、宿泊研修先は周辺に繁華街もありませぬ。6部屋確保し、すべての部屋が同じフロアで隣同士。気兼ねなく各部屋を行き来できる、そんな空間を設定させていただきました。結果部屋割りに関係なく各所で盛り上がり、語り合い、そんな場面を垣間見て、そのすべてに顔出しをして、皆さんに温かく向かい合っていてただけが、一番のうれしかったことです。個人的にはご参加の皆さん全員と語り合い、事故等が無いことが目標でしたが、その目標は何と達成できたかと思えます。そんな想いをくみ取って細かい配慮をしてくださったスイトラベルの担当者、新井さんには大変感謝しております。皆さんとご一緒できて、幹事長として役得な研修旅行になりました。北野会長はじめご参加の皆様、参加できずとも支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。

「攻めの守成を学ぶ旅」

高橋 卓哉

守成とは創業を受け継ぎ事業を守ることありますが、今回訪問した2社は守成というより積極的に攻めの事業を展開している。我々事業を継承するものとしては非常に参考となりました。

芝寿し様では梶谷社長様に講演いただき、東芝の代理店から芝寿しに業態変換するいきさつや、後継者としての苦勞、社員やその家族への配慮等大変参考になりました。またなにより後継者として一番大事なことは会社を潰さないことだとお聞きし、弊社の先代が常々言っていたことでもあり大変共感しました。加賀屋様では、小田相談役様よりご講演いただき、同じ第三次産業を生業とするものとして、レジユメの空白部分に書ききれないくらいメモを取らせていただきました。第三次産業とはサービス業であり、他社よりサービスが良くないと生き残れない。36年間顧客満足日本となった今も、今できることを徹底する姿勢は大いに見習うべきと学ばせていただきました。小田相談役様、梶谷社長様はもとより、今回の研修旅行を企画していただいた50年度役員の皆様にも感謝申し上げます。有難うございました。

「おもてなしの心」

川瀬 知哉

研修旅行最初の研修先である芝寿し様では最新の工場を見学させていただきました。食の安全、安心へのこだわりや様々な仕組み作りを学ばせていただきました。社長様のご講演では、事業承継で苦勞されていること、これからの取り組まれようとしていることと夢などを率直にお話され、共感した点が多くあり大変勉強になりました。

加賀屋様では玄関先で大勢の方に迎えられ、驚きと感動に圧倒されました。客室係の方は気遣いが素晴らしく感動の連続でした。相談役様のご講演ではサービスの本質を学び、早速自社でも展開していきたいと思っております。

金沢市内では、どの場所でも人が溢れ大変活気があると感じました。駅前も多くの建物が立ち並び、数年前と様変わりしていることに大変驚きました。加賀屋の相談役様からは北陸新幹線開通し、何もなければ一年で飽きてしまう。人々が飽きない様に様々な工夫や働きかけ行政とともに進んでいると仰っていました。まさにその通りの街づくりでした。

素晴らしい研修旅行先へ導いていただきました会長、幹事長、役員の皆様にも心から感謝いたします。ありがとうございました。

「OJB研修旅行」

近沢 正

50年度の研修旅行は「金沢」。加賀百万石の城下町、歴史がある観光の町です。2つの企業研修が盛り込まれた今回の研修旅行の宿泊先はなんとあの加賀屋さん！期待に胸が高まる研修旅行です。

1日目、最初の研修先である「芝寿し」へ。工場見学の後には梶谷社長のご講演を聴講しました。会社の設立からご自身の生い立ち、社長就任までのご苦勞や新工場運営にまつわるアレコレと時間が経つのを忘れてくらくらの熱の入ったご講演でした。

そして加賀屋さんへ到着し、すぐに小田相談役のご講演。伝統ある宿に於ける「地域活性化と産業の役割」。過去を大切にしながら、しつかりと未来を見据えるというお話でした。和倉温泉の加賀屋さんにて圧巻だったのは、到着時数十人もの仲居さん達によるお出迎え。皆さん作り笑顔ではなく自然な笑顔だったのが印象的でした。相手の立場に立って思いやる事を大切にされたサービスの神髓を宿泊中端々で実感できました。

さて、今回の2つの研修企業でお聞きした中に共通した課題がありました。それは人口減による人手不足です。それに向けての対策として、芝寿しさんでは工程のオートメーション化。加賀屋さんでは、自動搬送システム導入との事でした。重労働である旅館接客業において今後さらに少なくなる事が予想される労働力を「おもてなし」にふつていく事がこれからの旅館業のポイントという事でした。

新工場で新商品開発に熱意を燃やす芝寿しさん、創業109年もの伝統をもつ加賀屋さん違った特徴をもつ2つの研修先で、日本全体の課題でもある人手不足という共通の語句がでてきました。時代や背景に合わせてつねに革新している2つの企業のみでなく日本がかかえるタイムリーな問題について、身近なものとして考えることができました。

自社だけでなく地域についても活かせる素晴らしい研修旅行をありがとうございました。

「研修旅行に参加して」

足立 貴保

今回の旅行では、北陸新幹線や海外からのインバウンドなどの影響による金沢の地域活性を実際に感じる事ができました。またそうした中で、すべての業種において共通の問題である人材不足には深い危機感を感じました。2020年の東京オリンピックや、その先の未来を見据えて北陸の観光業（サービスマン）で、国内需要拡大だけでなく海外へサービスマンそのものを輸出することに目を向けていることに、とても発展性を感じました。研修先の芝寿し様においては、同世代の梶谷社長様からご自身の失敗談やいろんな場面での心情をお聞きすることが出て、自分に置き換えたときにシシクロする部分や社員との向き合い方などがとても参考になりました。また、最新鋭の食品加工工場の製造工程と衛生管理の徹底には、驚くとともに大変勉強になりました。

「日本一のおもてなし」加賀屋様には到着時の出迎えから送りまで、他とは違う手厚いサービスマンを実感しました。「おもてなし・気遣い」が随所に感じられ、とても快適に過ごさせていただきました。小田相談役様のお話を拝聴して、最前線を感じる観光サービスマンの人材育成やサービスマンの本質である「正確性」と「ホスピタリティ」を継続しながら、日本一であり続けることが必要であり、実践している加賀屋様は本当に素晴らしいと感服致しました。

最後になりましたが、今回の旅行で会員の皆様と親睦をより深めることが出来て、とてもうれしく思いました。ありがとうございました。

「50年度研修旅行を終えて」

奥田 祐太郎

まずは今回の研修旅行を企画してくださった北野会長、寸田幹事長に感謝いたします。また、運営、仕切りを二日間に渡ってご尽力いただいた寸田幹事長には頭が下がります。ありがとうございました。

今回の研修先の芝寿し様も加賀屋様も、それぞれ社長様と相談役様とご講演いただくだけでなく大変丁寧なお出迎えとおも

てなしをうけて研修できたことはもちろんのこと、両社の人をお迎えする際の姿勢に感動いたしました。また両社に共通して言えることは、当たり前のようにですが人を大切にすること。お客様はもちろんのこと、従業員さんに対しても経営陣の皆様がそういう姿勢であることがひしひしと伝わってきました。

芝寿し様では、我々と年齢の変わらない社長様自ら工場見学でご説明いただき、そのうち講演いただきましたが、逆にこちらに質問される場面があり自らも研修しようという姿勢に感銘を受けました。また3代目である社長様も自らの会社やその歴史に誇りに思われていてご自身も万事愛情をもって仕事に取り組んでおられる姿は、皆さん礼儀正しい従業員様を拝見して感じる事ができました。

加賀屋様でも、さすがは36年間おもてなし日本一というお出迎えを受け、客室係の一人お一人が素晴らしい対応で感動することばかり！入社基準があるんだらうなあ・・・と思いき小田相談役様に質問を投げかけたところ、あくまで教育！というご返答に驚きました。どの従業員さんの笑顔も素晴らしい、一つ一つの対応が教育でここまでのクオリティーになるということ、その教育プログラムが素晴らしいであろうことはすぐに理解できました。そして人に愛情をもって接している様は、目の前にある事象のみを解決しようとする私にとって、人として経営者の端くれとして刺激的な研修をさせていただきました。

今年度の「伝統を創造しよう」というスローガンに沿った、非常に意義深い研修旅行となったと思います。私にとって仕事はもちろんのこと自分自身の習慣や価値観でさえ改革（改心）させられる二日間となりました。

OJBの研修旅行は今回で4回目の参加となりますが、毎回違った場所にいる様々な企業様で研修させていただきましたことはとてもいい経験です。皆さんと風呂に入り文字通り裸の付き合いの中で、いつものメンバーの素の部分が見えていい思い出ともなります。今後もOJB研修旅行にはできるだけ参加して、内に外に新たな発見、気づきをしていきたいです。

「50年度研修旅行を振り返って」

大平 晃嗣

今回、47、48年度と1年空けて今年度で3度目の研修旅行に参加いたしました。直前まで仕事の折り合いが上手くいかずにもしかした欠席か？というところでしたが、何とか現場の折り合いがつかぬでなく参加できることになりました。今回の旅行に参加されている皆様も忙しい中ピシッと参加されているのを見て「さすが！さすがOJBだ！」と毎度のことながら感心しきりでした。最初はバスの中でのクイズ大会。普通なら少し微妙な空気になってしまおうところですが、松下親睦副委員長の見事な段取りで大いに盛り上がり楽しい時間をすごせました。

最初に向かったのは、芝寿し本社いなほ工場の視察、梶谷社長の話、苦勞してきたことを拝聴でき、とても身近に感じられるような素晴らしい講演でした。そこで2度目の講演を相談役から拝聴

できました。お話の中で「おもてなしのマニユアルは85%、残りの15%はその人の個性を生かすように育てています」というフレーズが妙に頭に残りました。これほどおもてなしで有名になつてしまおうと全てをマニュアル化してしまおうですが、逆にそうじゃないんだな、とじんわり感銘を受けました。

例年の旅行ですと宴会の後は、各自夜の街へ繰り出すのが習慣ですが今年は近くに繁華街が無い為、おのずとホテル内で過ごす事になったのですが、これがかえって会員同士の親睦を深める良いきっかけになったような気がします。

大したトラブルもなく、楽しく二日間過ごせたのは、北野会長、執行部役員の皆様方、細部に渡り気を配っていただいた寸田幹事長のおかげだと強く感じております。ありがとうございました！

「研修旅行に参加して」

田中 真奈美

お天気にも恵まれ、北野会長が学生時代、また菓子職人として修行され過ごされたという金沢の地にて2社の企業で研修をさせていただくことができました。

まず、芝寿し様では、社長ご自身のご経験をつつみ隠さずお話しくださり、企業規模の大小はありますが、ご商売や家を受け継いでいくという責任感や使命感に共感されました。

また、素直でまっすぐな姿勢の社長が過ごされた中学、高校時代と私の高校時代と親を離れ厳しい寮生活をした学び舎が同じであった事が自身の今後の活動の励みとなりました。

加賀屋旅館様におきましては、一流のおもてなしの心を直に体験させていただきました。どのスタッフの方と接しても心地よい対応で、何よりスタッフの方が自ら考え行動に移して目に見える輝きがとていい事がとても印象的でした。こうした人材教育育成は、36年おもてなし日本一に表彰され続けてみえる責任の重さと弛まなない影での努力とお客様サービスマンの追及があるからだと感じました。

また、サービスマンを受ける側が心地いいとホテル全体の雰囲気も和やかに、お客様同士も友好的に感じました。環境が人を作っていく事を肌で感じ、家庭、自社、地域社会、日本の社会全体がますます、おもてなしの心、思いやりの心であふれる社会になるといいなと感じました。

最後に今年度役員、執行部、会長、すばらしい研修旅行を企画してくださりありがとうございました。

「我ら西京人!!」

上野 和幸

西京は西京ではない、ゆえに西京は西京である。「デカルトの方法序説の中で最も有名な命題「我思う、ゆえに我あり」を彷彿とさせる様なこのフレーズが、何故か僕の心の中に不思議なチエックマークを残していた。

今回の研修旅行の素晴らしさは僕が語らなくても、他の皆さんの感想文で存分に追体験する事が出来ると思うので、僕は敢えて21世紀美術館での感想を記述せよう。

この展示企画は、3人のアーティストが、アジアのどこかの架空都市「西京」を舞台に様々な作品を生み出していき、というものである。その作品は、ほとんどが意味不明瞭なものが多

く、見た瞬間に心を撃ち抜かれる、という類のものではなかった。「訳分からんなあ」という、ほぼ全ての観覧者が抱く感想を僕もご多分に漏れず感じていたが、ふと、この難解さこそが作品のテーマなのではないか、という考えが頭に浮かんだ。難解なものを難解なまま受け入れる、その姿勢が現代人類に欠けていて、その結果、分りやすいシステム、分りやすい価値観、分りやすい環境、などを求めて無益な争いが日々行われていて…。一度自分を規定してきた常識や役割から解放されて、自由に自分自身を価値づけしてみようではないか！だからこそ最初に書いた「西京は西京ではない」のフレーズが作品群のテーマになっているのだ、と僕は解釈した。そう、現代を生きる全ての人が、現実の世界での帰属集団の構成員であると同時に、西京人でもあるのだ！

この一見訳の分からない論理構築こそが、世界中で繰り返される愚行や哀しみを少しでも軽減させる一つの解になるのではないだろうか。と思つたら、それまでは難解だった作品群が突然僕の中で生き生きと動き出し、それぞれに珠玉の言葉を僕に向かつて問いかけてきたのだ！
なんて事は全くなく、訳の分からないのはやっぱり訳が分りませんでした。

「研修旅行を終えて」

川瀬竜也

第50年度の研修旅行は、一泊二日の日程にもかかわらず研修先が2か所あるということで、まさに「OJ Bらしい研修旅行」と出発前からとても楽しみにしていました。

はじめに訪問した「芝寿し」さんでは、社長自らのお出迎えを受け、丁寧な工場案内、詳しい会社概要、社長の現在に至るまでの赤裸々なお話を聞き、とても感激しました。「店はお客様の為であり、従業員・取引先と共に栄える」という経営理念のもと、創業者である祖父の意志を十分理解したうえで経営者としての責任を果たしておられる社長にとっても強い刺激を受けました。

宿泊先でもある「加賀屋」さんでは相談役であられる小田禎彦氏に「地域活性と産業の役割」というテーマでご講演いただきました。質疑応答で是非質問したいと、次々と質問をメモしていましたが、そのことごとくが講演により解決していくことに感動しました。経営者としてまた人として、加賀屋さんのような「おもてなし」を今後念頭に置いて、日々研修していきたいと思いました。

大変貴重な研修を、企画・運営していただいた北野会長・小田幹事長、またとても楽しい2日間を共にして下さった会員の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

「研修旅行を終えて」

小林諒士

今回はOJ Bに入会して二回目の研修旅行となりました。自身石川県に行くのは二回目で楽しみにしていました。初めに行った芝寿しさんは、誰もが一度は食べた事があると思いますがその寿司をどの様にして作っているのか？そしてどんな気持ちで作っているのか工場見学させて頂いてすぐわかりました。笹寿司と言えば石川ではあたり前の料理、昔から食べている物。

そのなかでも常に笹寿司を使って新しい笹寿司の研究等、大変貴重なお話を聞いたこと笹寿司一つ一つに込められた思い大変わかりました。そして宿泊先の日本一のおもてなし加賀屋旅館では、バスが到着する時には大勢のお出迎えをしてくださる対応旅館の綺麗さどれをとっても素晴らしいと思いました。加賀屋の相談役の小田禎彦先生には大変お客様に満足して頂けるおもてなし術を教えてくださいたいことと思っております。大変貴重な体験をさせて頂きました。北野会長ありがとうございました。

「金沢研修旅行を終えて」

稲尾大介

今回研修させていただいた、株式会社 芝寿し様の施設見学では、食品を扱う工場と言う事で、クリーンエリアから汚染エリアへと一方通行の動線で衛生面の徹底した管理がなされていました。そして、梶谷社長様のお話では自社で製造・販売されている笹寿しは、地域ブランドを全国展開するために最新の冷凍技術を導入しながら販路拡大をしている事を伺いました。また、巨額の費用を投入して作られた自動御飯製造ラインの炊き上がりに納得がいかなかった時に、手作業での炊飯にした事を笑いながらお話ししてくださいました。商品へのこだわりとおお客様の信頼を大切にされている方なのだと思います。お話には出ませんが、エアコン使用1間当たりの電気代の貼りだしなど事務所や工場内には徹底したコスト管理意識が伺えました。そして、芝寿し様でいただいた昼食は金沢の名産品が入った特製弁当、とてもおいしかったです。会社規模・職種とまったくの異次元の方ではありましたが、とても刺激を受けるお話でした。次に研修させていただいた加賀谷様は名前を聞いた事は有りましたが、実際に泊まる事は初めてでも楽しみにしていました。到着早々36年連続日本一のお出迎えを受け少し気恥ずかし気持になりましたが、従業員さんの接客対応、客室からの絶景、おいしい食事さすが日本一と納得しました。そこで講演していただいた、小田相談役のお話は加賀屋一企業のお話と言うよりも、金沢そして北陸地方の活性化に重点を置いて活動のお話を伺い、地域活性化がいかに大切かを、改めて気づかされました。今回の研修旅行は充実した研修を行い、その後の宴会では会員のみなさんと絆を深める事が出来とても有意義なものになりました、ありがとうございました。

「研修旅行へ参加して」

松下元嘉

今回初めて旅行に参加をさせていただき、とても研修になった2日間でした。バスでの余興、芝寿し工場見学、加賀屋相談役ご講演、飲み歩き…。普段は経験できないことをさせていただきましたし、また会員同士のコミュニケーションも取れ、良い雰囲気で行われたのではないかと思います。

芝寿しさんの工場見学は迷路のようで、機械の多さ、徹底した衛生管理、そして何より従業員さんの雰囲気や素晴らしい企業文化と感じました。社長の講演では、一応同じ飲食業という事もあり、同感する所、なるほどと思う所が沢山あった中で、起業してない人に会社を潰す権利はない。と言われた時、自分自身考えさせられる言葉でした。もちろん食べていく為、そして後に繋げる為に会社を伸ばしていく、そのためには時代の流れ、ニーズに合った事業の拡大を図っていくかなければいけないのかなと感じました。

加賀屋さんは今回の旅行で一番楽しみにしていた場所でも、到着早々に鳥肌の立つようなお出迎えをしていただき、36年間おもてなし1位のおもてなしを体験させていただきました。相談役の講演ではこれからのおもてなしをどう良くしていくかどう伝えるか、また販売繁盛の原点は「お客様の問題を解決すること」など初心を忘れず新しいことを知る。まさに伝統を創造しようでした。どちらのトップの方も共通することは、これから先の展開のビジョンを明確にもつていられたいました。ビジョンを持ち続け社員と共有することが強い企業を作るヒントなのかもしれません。2日間良い研修になりました。ありがとうございました。

「活気ある街に触れて」

高木一也

研修旅行に初めて参加させて頂いて感謝します。北陸に新幹線が繋がり、北陸に訪れる方が増えているとは知っていましたが、実際に訪問して、その活気のすごさを肌で感じる事ができました。

株式会社 芝寿しの梶谷先生の講演では、効率を考えた新工場の設計であり、細かな場所に良い商品を作り出すための工夫を見る事ができました。また、梶谷先生の失敗談も聞くことができ勉強になりました。その中でも、すべての商品を撤去する決断をしたお話では、私もお客様への信用・信頼がいかに大切かを改めて感じました。

株式会社 加賀屋の小田先生の講演では、サービスの本質について勉強できました。サービスとは、お客様に喜びを感じていただき楽しく過ごしていただくだけではなく、さらにその上、お客様に感激や感動を感じてもらおうという事にとっても感銘を受けました。そして、常に向上し続ける気持ちを持つ大切さを勉強できました。そして今回の研修旅行では、工場で働いている従業員の方、旅館で働いている従業員の方、全ての方が誇りを持って笑顔でお仕事をされている姿を見て、私も会社も、もう一度仕事への思いを見直すきっかけになった研修旅行でした。参加させて頂き本当にありがとうございました。

「お疲れ様でした！」

野原実

まずはこのような貴重な研修の機会を頂きました事、誠にありがとうございました。

芝寿しの梶谷社長からは、後継者として先代の思いを継承することの大切さを学ぶと同時に、ただ継承するのみではなく、新しさを取り入れる事が大事であるという事を教えて頂きました。私も2代目として、創業である父親の思いに再度立ちかえるいいきっかけを頂きました。

加賀屋の小田相談役からはハイタッチ、ハイテックという、機械に任せられる事と、人間にしかできない事をしっかりと分ける考え方を学ばせて頂きました。しかしそれは同時に、人間にしかできない事をしっかりと追求していく事が大切であるのだと考えさせられました。相手の意を読み取り、気持ちや和むような一言や、気遣い、そんなおもてなしを、我が社でも追及していきたいと思えます。

そして何より、2日間を通じ、みなさんと楽しい時間を過ごせたことが一番の思い出となりました。当日はもちろん、当日までの準備を頂きました、執行部等の方々にも改めて感謝の一言です。ありがとうございました。そしてお疲れ様でした！

「OJB 研修旅行に参加して」

吉田 光利

新入会員ですので、初めての旅行参加でした。芝寿し様の工場見学では、最新の設備や徹底された衛生管理に驚きました。社長の講演では、会社の歴史と経営者とはビジョンを語るのと同じ時に常に足元を見るというお話がありました。創業者の理念を受け継ぎ、また、それを次世代に引き継ぐために社員と供に汗をかき、悩み、問題解決を目指す姿は同世代の経営者として、大変勉強になりました。

続いて宿泊先の加賀屋様へ。到着時からの数々のおもてなしは、36年連続日本一が納得できる、大変心地良いものでした。そのおもてなし精神は、相手の立場に立ち、目に見えないもの、耳に聞こえないものを察知し、日々の改善と努力の積み重ねが正確性とホスピタリティに磨きをかけ、お客様の抱える問題を解決できるというお話を加賀屋相談役から伺いました。このことは、自社の営業、また人間関係すべてにおいていえることでもあり、今後に生かしていきたいです。

また、夜の宴会も大変楽しく、そして、行きは縁あって吉田大助直前会長と2人での道中となり、色々なお話をさせて頂きました。こちらも良い思い出となりました。このような機会を与えて下さった会員の皆様、誠に有難うございました。

「研修旅行を終えて」

川瀬 由香

まずもって、特別会員であるにもかかわらず、大変わがままな旅行参加になってしまった事をお詫びいたします。規模は大きく違えど、同じ業種の私は、日本を代表する加賀屋様での「おもてなし」のお話を興味深く、きつと大変勉強になったと思います。ご講演を聴くことができなかつた分、細やかな従業員の方々の表情、言葉、気配りをしっかりと観察させていただきました。やはり、一流の五感の癒やしを提供されていらつしやる色々な場面で見ました。なかなか、こうした機会でもないと伺うことができなかったもので、この旅行を企画していただけた今年度会長、役員の皆様へ感謝です。毎年OJBの旅行に思いますが、大人の団体旅行のわりには、長い時を共有することでみてくるいい人間性をいつも感じます。一言で言えば「ほんわか」って感じです。きつとそれが50年続いているOJBの良さなんです。

「研修旅行を終えて」

佐竹 紀皇

OJBの研修旅行は、特別会員になってからイタリアに続き2回目となりますが、仕事の都合上、遅れて宴会からの参加ということで、研修旅行ということにはなっていないのですが、芝寿し様と加賀屋様の講演は、大変勉強になり良かったと参加された会員さんに聞いております。

今回の旅行も、OJBらしい研修旅行だったのではないのでしょうか、機会があればまた参加させてもらいたいと思います。ありがとうございます。

岐阜経済大学との懇親会

とき 平成28年6月24日(金) ところ たつみ 出席者 26人

今年度は、石原健一学長と渡辺正典事務局長にご参加いただきました。石原健一学長とは、研修委員会担当「2月例会」のご縁もあり、大変盛り上がりつつ懇親会となりました。



北野会長 始めの挨拶



石原健一学長の 挨拶



吉田直前会長 乾杯の挨拶



大橋副会長 締めの挨拶



渡辺正典 事務局長



岐阜経済大学との懇親会二次会

とき 平成28年 6月24日(金) ところ スリーキャッツ 出席者 26人

今回の二次会は、会員のみというカタチで行われましたが、大学が地元にある素晴らしさを語り合い、後半はカラオケ等で盛り上がり、親睦を深めることができた会となりました。



西野会員 乾杯の挨拶



渡辺会員 締めの挨拶



クロスしながら相手に飲ませ合う乾杯



北野会長・松本歴代・高木&野原新入会員がカラオケで盛り上げていただきました。

■北野英樹会長
5月のOJBオープン、6月の研修旅行、本日の例会と大勢の参加者で運営ができました。ありがとうございました。

■大橋誠治 会員
第51年度執行部役員承認いただきました。有難うございます。

■長期計画委員会
本日、7月担当例会にて皆様のOJBへの熱い想いをうかがうことができました。今日の御意見を今後にしつかり引き継げるように致します。ありがとうございました。

■平野宏司 会員
■松本正平 会員
■高橋卓哉 会員

50年度と共に開催した創立50周年記念コンペが大成功に終わりました。皆様ありがとうございました。

■長期計画委員会
■親睦委員会

OJB オープン無事に終える事が出来ました。皆様にご協力いただけ本当にありがとうございました。

■土屋光晴 会員

50周年記念 OJB オープンゴルフコンペにおきまして順位はさておき、自己ベスト(79)更新しました。また、6月26日に新店舗 atelier Sunブランドオープンすることができました。ありがとうございました。

■小川真人 会員

OJB オープンにて準優勝させていただきました。ありがとうございました。

■足立貴保 会員
■加納浩二 会員

OJB オープンで5位実行委員長賞をいただきました。ありがとうございました。親子でニアピンをもらった気がします。気のせいだったらごめんなさい。

■河合孝浩 会員

岐阜県社会保険労務士会から選ばれて、全国社会保険労務士会連合会 大西健造会長と意見交換会に参加させていただきました。OJB オープンにて7位「灯し柁」をいただきました。ありがとうございました。

■中島繁樹 会員

OJB オープンにて51位で前後賞をいただきました。

■川瀬竜也 会員

OJB オープンにて入賞させていただきました。ありがとうございました。

■清水琢磨 会員

OJB オープンにて69位いただきました。皆様にフォローいただき楽しくプレーさせていただきました。ありがとうございました。

■北野英樹 会長
■鳥居清 会員

■吉田大助 会員

■松下元嘉 会員

7月2日、3日大垣菓子博および前日祭が行われました。大盛況のうちに終わることが出来ました。ありがとうございました。

■松本正平 会員

6月26日行われた大垣薬剤師会の総会で再び会長に就任しました。7月号の大垣咲楽に元氣ハツラツ市を特集いただきました。

■永田康仁 会員

代表取締役役に就任しました。

■鳥居清 会員

NHK 総合「つるべの家族に乾杯」で山本耕史さんとご来店いただきました。たくさんの方々に観ていただけて幸せです！

■井納宏自 会員

会社を本巣から瑞穂市移店しました。心機一転、初心に返りスタートしたいと思います。

■近沢正 会員

研修旅行、行きバスで行われたビンゴ大会で空気を読まずに等をとってしまいました。ありがとうございました。

■牧村英治 会員
■上野和幸 会員

第1回ワイン & グルメストリート in 大垣、大成功に終える事が出来ました。市役所発表では2000人の方に楽しんで頂けた様です。様々なメディアにも上げてもらえました。

■上野和幸 会員

毎年7月7日に四鳥様で行われるワイン会に初めてワインを出品する事ができました。今日の中日新聞にも写真を掲載して頂きました。

■渡邊雅大 会員

5月11日に次女が無事に誕生しました。なおいっそうがんばりたいと思います。

■西川可一 会員

大垣まつりと同時開催した「すいと大垣酒合戦」無事成功しました。OJB 会員様の来場すごくうれしかったです。どうもありがとうございました。

■吉田光利 会員

6月22日に第2子、第3子 双子の女の子が誕生しました。色々大変ですが女子4人に囲まれた生活がどうなるか楽しみです。

皆様への「お知らせ」

8月最終ゆかた例会

「OJBをふりかえって」と題して今年度をもつて卒業される皆様にご講演いただきます

とき……8月9日(火)

18時10分～20時50分

バス利用者 東外側駐車場

16時15分集合

ところ……十八楼

TEL 058-265-1551



「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」に入選、「人気温泉旅館ホテル250選」に5年連続入賞、「5つ星の宿」に選ばれた名宿になります。

最終ゆかた例会二次会

とき……8月9日(火) 例会終了後

ところ……SEASON(シーズン)

大垣市本町1丁目27毛利ビル4F

TEL 0584-811-0500

会費……4,000円

広報委員会より

今月号で最後となりました。皆様、ご支援、ご協力いただきありがとうございました。

委員長・小川智宏、副委員長・清水琢磨